

会 議 録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-4566-2511

附属機関又は 会議体の名称		平成27年度 未来戦略創出会議(第6回)
事務局(担当課)		政策経営部企画課
開催日時		平成27年9月3日(木) 14時～15時15分
開催場所		庁議室(庁舎5階)
議題		(1)平成27年第3回豊島区議会定例会提出予定案件について (2)平成27年度豊島区補正予算(案)について (3)平成26年度決算における健全化判断比率について (4)平成26年度各会計歳入歳出決算について (5)会計白書について (6)平成27年度行政評価の実施結果について (7)豊島区歴史的公文書等の収集・保存検討委員会の設置について (8)政策経営会議(第7、8回)結果報告 (9)(仮)マイナンバー条例の制定に関するパブリックコメントの結果について
公開の 可否	会議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 豊島区行政情報公開条例第7条第1項第5号による
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	区長(職務代理:副区長)・副区長・教育長・政策経営部長・総務部長・施設管理部長(代理:財産運用課長)・新庁舎担当部長・区民部長・文化商工部長・環境清掃部長・保健福祉部長・健康担当部長・池袋保健所長・子ども家庭部長・都市整備部長・地域まちづくり担当部長・建築住宅担当部長・土木担当部長・会計管理室長・教育部長・区議会事務局長
	幹事	企画課長・財政課長・行政経営課長・区長室長(欠席)・広報課長・シティプロモーション推進室長・セーフコミュニティ推進室長・長期計画担当課長・国際アート・カルチャー都市推進担当課長・総務課長・人事課長(欠席)・財産運用課長・選挙管理委員会事務局長・監査委員事務局長
	説明者	
	事務局	企画課企画調整グループ係長・主任主事

審議経過

(1) 平成 27 年第 3 回豊島区議会定例会提出予定案件について

各委員： 資料に基づき、平成 27 年第 3 回豊島区議会定例会提出予定案件について説明。
⇒提案の通り決定する。

(2) 平成 27 年度豊島区補正予算(案)について

幹事： 資料に基づき、平成 27 年度豊島区補正予算(案)について説明。

今回の一般会計補正予算額は 1,526,048 千円であり、財源の内訳は、特定財源が 379,393 千円、一般財源が 1,146,655 千円である。このほか、債務負担行為の補正が新規 10 件、変更 1 件ある。また、3 特別会計の補正予算があるが、国民健康保険事業会計のマイナンバー制度導入に伴うシステム改修を除き、精算に伴う補正予算である。

区長職務代理 (副区長)： 教育と保健福祉基盤で合わせて 300 万円の寄付金受領がある。情報提供だが、ふるさと納税により首都圏は減収となっている。23 区では 26 年度の寄付金控除額がマイナス 7 億円、27 年度の寄付金控除は 3 倍の 20 億円となっている。区においては、寄付金控除額が 1,900 万円から 6,300 万円となっており、影響が大きい。

⇒提案のとおり決定する。

(3) 平成 26 年決算における健全化判断比率について

幹事： 資料に基づき、平成 26 年度決算における健全化判断比率について説明。

実質赤字比率と連結実質赤字比率は、昨年度に引き続き赤字額がなく、また、将来負担比率も、昨年度に引き続き将来負担を充当財源が上回り実数が算定されないため、比率は算出されない。実質公債費比率は△0.9%となったが、初めてのマイナス数値であり、昨年度から 2.8 ポイントの良化となっている。

本区の各比率はいずれも「健全段階」の位置づけとなっているが、今後も引き続き計画的かつ健全な財政運営に努めていきたい。

⇒報告の通り了承する。

(4) 平成 26 年度各会計歳入歳出決算について

委員： 資料に基づき、平成 26 年度各会計歳入歳出決算について説明。

一般会計決算収支の状況は、予算現額 1,363 億 46 百万円、歳入 1,323 億 53 百万円、歳出 1,295 億 78 百万円である。形式収支である歳入歳出差引額は 27 億 8 百万円、翌年度へ繰り越すべき財源は 8 億円、実質収支額は 19 億円 74 百万円である。基金繰入額は実質収支額の同額となり、実質繰越額は 0 円である。

歳入決算額であるが、純歳入額は 1,042 億円、純歳出額は 1,160 億円である。

歳出決算額は支出済額 1,295 億 79 百万円であり、前年度と比較して約 275 億円増えているが、庁舎建設関連のものである。

次に特別会計であるが、各特別会計から一般会計に繰り入れた額の合計は 13 億 57 百万円、一般会計から各特別会計に繰り出した額の合計は 107 億 8 百万円であり、繰入額と繰出額の差額は 93 億 51 百万円である。国民健康保険事業会計は、予算現額 313 億 95 百万円、歳入 316 億 56 百万円、歳出 305 億 73 百万円、実質収支額 10 億 82 百万円である。後期高齢者医療事業会計は、予算現額 59 億円、歳入 58 億 87

百万円、歳出 57 億 16 百万円、実質収支額 1 億 70 百万円である。介護保険事業会計は、予算現額 187 億 72 百万円、歳入 183 億 9 百万円、歳出 178 億 28 百万円、実質収支額 4 億円 80 百万円である。

債権別収入未済額及び不能欠損額であるが、強制徴収公債権と私債権を合わせた収納未済額が前年度から約 3 億 70 百万円減少した。昨年度も約 5 億 4 千万円減少しているが、景気の動向もあるが、収納対策の強化による効果があったものと考えている。一方、非強制徴収公債権の収入未済額は、前年度と比較し約 1 億 23 百万円増加した。主な要因は、生活保護費の返納金及び戻入未済金であるが、生活困窮者に対する返還請求の難しさと、稼働年齢層の増加等に伴う返納金・戻入金が増えていることが挙げられる。

平成 26 年度一般会計の決算額は大幅な増となっており、過去 10 年間では、歳入、歳出決算額とも最も高い額となっている。収入率、執行率とも過去 10 年間では、4 番目に高い率となっている。形式収支は前年度と比べ 68 百万円の減、また実質収支は前年度と比べ 6 億 81 百万円の増となっており、実質収支全額が基金繰入額となるため、翌年度繰越はない。

歳入の状況は、特別区税の対前年度比はプラス 1.2%、3 億 68 百万円の増であった。特別交付金はプラス 3.7%、10 億 72 百万円の増である。また、繰入金はプラス 489.2%、232 億 99 百万円の大幅増であるが、庁舎等建設基金支払いに伴うものである。一方、国庫支出金はマイナス 0.4%の微減である。

歳出の状況は、義務的経費が 4 億 21 百万円の増となっている。人件費は 203 億 26 百万円、前年度比プラス 1.0%であり、下げ止まりもしくは踊り場にあると思われる。扶助費は前年度比プラス 4.3%の増、公債費は対前年度比マイナス 21.0%、9 億 43 百万円の減となっている。

投資的経費は前年度比プラス 134.1%、その他経費はプラス 26.9%であるが、どちらも新庁舎建設関係による。

⇒報告の通り了承する。

(5) 会計白書について

委員： 資料に基づき、会計白書について説明。

5 月に発行した会計白書の改訂版であるが、3 章構成となっており、巻末に資料を掲載している。新たに追加した項目として、収入方法別の収納件数、新規・拡充事業ごとの執行額、所属別の備品内訳、会計処理の仕組み、公金手数料の状況、会計書類の返戻率の推移、会計人材育成 OJT 計画などがある。

区長職務代理 (副区長)： 会計白書を議会に提出したいと考えている。26 年度の決算額は各主管部局からの数字か。また、会計書類返戻率が高いように思える。どのような内容か。

委員： 決算額については、そのとおりである。会計書類については、基礎的な知識の不足やチェックが欠けているようである。今後、OJT や研修等を通じ、職員の能力の向上に努めたい。

⇒報告の通り決定する。

(6) 平成 27 年度行政評価の実施結果について

幹事： 資料に基づき、平成 27 年度行政評価の実施結果について説明。

行政評価は、計画や予算を立て、事業を実施し、その行政活動に対する評価に基づいて改善・見直しを行い、新たな計画や予算に反映をしていく「PDCAサイクル」を循環することで、効果・効率的で成果重視の行政運営を推進し、業務の改善や説明責任の向上を目的としている。

平成 27 年度の事務事業評価対象事業は、667 事業であり、基本的には、昨年度と同様の手法を用い、「事業総点検」と連動して実施した。

評価は、現状や方向性の評価を事業所管課が一次評価として行い、それを受けて、政策経営部職員で構成する庁内評価PTにより、方向性の評価を二次評価として行った。

現状の評価であるが、「良好」と評価された事業は全体の 40.2%であった。一方、「不十分」と評価された事業は全体の 1.6%であったが、昨年度と比較し、改善している。

また、今後の方向性についての評価であるが、「拡充」と評価された事業は 47 事業あり、国際アート・カルチャー、特定都市再生緊急整備事業、子ども・子育て支援制度関連で昨年度より増加している。「改善・見直し」と評価された事業は 15.6%で、前年度から約 2.5 ポイント減少しており、改善が一定程度進んでいると考えられる。

行政評価の実施は、14 年目を迎え、政策評価、施策評価の実施など、充実に努めてきた一方、評価作業に対する職員の負荷も大きくなっている。今後、新基本計画とリンクさせながら、より効率的で実効性の高い評価システムを構築できるよう改善を行っていきたい。

区長職務代理 終了と評価された事業はどのような事業か。

(副区長):

幹事: 子ども・子育て支援制度における事業の移行がほとんどである。実際に終了したのは障害者施設建設費等助成経費であるが、借入償還金の返済が終了したことによる。

区長職務代理 評価については課題もあり、今後検討してもらいたい。

(副区長):

⇒報告の通り了承する。

(7) 豊島区歴史的公文書等の収集・保存検討委員会の設置について

幹事: 資料に基づき、豊島区歴史的公文書等の収集・保存検討委員会の設置について説明。

これまで公文書は保存年限による管理を行っていたが、歴史的資料として重要なものについて体系的に収集、整理、保存していきたい。委員会及びその下部組織としてチームを設置し、検討していく。今年度は選別基準の検討と策定を行う。来年度以降は職員への説明会や公文書の調査、選別作業を実施しながら、区民の利用を供するための保存場所についても検討し、平成 31 年度には開設したい。

区長職務代理 公文書管理法ではどのような扱いになっているのか。板橋区が先進的に行っているようだがいかがか。

(副区長):

幹事: 地方公共団体は努力義務となっている。板橋区は平成 21 年から公文書館を開館

しているが 23 区で唯一だ。法施行後、府中市でも開館している。豊島区史として昭和 50 年から平成 4 年までが発行されているが、その後の発行がない。区史も視野にいれつつ、資料の整理をしていきたい。

⇒報告の通り決定する。

(8) 政策経営会議(第7、8回)について

委員： 資料に基づき、政策経営会議(第7、8回)の結果について説明。

⇒報告の通り了承する。

(9) (仮)マイナンバー条例の制定に関するパブリックコメントの結果について

幹事： 資料に基づき、(仮)マイナンバー条例の制定に関するパブリックコメントの結果について説明。

パブリックコメントを1ヶ月間実施し、2 名の方から合計 6 件のご意見をいただいた。マイナンバー制度について、賛成、反対の意見であり、条例の内容に関する意見はなかったため、条例の見直しは行っていない。

区長職務代理 条例は議会にどのように提出するのか。

(副区長)：

幹事： 総務委員会で審議されるので、パブリックコメントについても説明したい。

区長職務代理 区民監査委員の導入についてのご意見は重要かと思うがいかがか。

(副区長)：

幹事： 来年度に向け、検討していきたい。

⇒報告の通り決定する。

会議の結果

- (1)平成 27 年第 3 回豊島区議会定例会提出予定案件について
- (2)平成 27 年度豊島区補正予算(案)について
- (3)平成 26 年度決算における健全化判断比率について
- (4)平成 26 年度各会計歳入歳出決算について
- (5)会計白書について
- (6)平成 27 年度行政評価の実施結果について
- (7)豊島区歴史的公文書等の収集・保存検討委員会の設置について
- (8)政策経営会議(第 7、8 回)結果報告
- (9)(仮)マイナンバー条例の制定に関するパブリックコメントの結果について
→(1)・(2)・(5)・(7)・(9)について決定、(3)・(4)・(6)・(8)について了承

提出された資料等	<ul style="list-style-type: none">・平成 27 年第 3 回豊島区議会定例会提出予定案件・平成 27 年度 豊島区補正予算(案)・平成 27 年度豊島区補正予算(案)説明用資料・平成 26 年度決算における健全化判断比率の報告について・平成 26 年度各会計決算総括説明・平成 26 年度一般会計決算の概要・「会計白書」第 2 版発行・豊島区会計白書 2015・平成 27 年度行政評価の実施結果について(概要)・平成 27 年度豊島区行政評価(事務事業評価)事業別評価結果一覧・豊島区歴史的公文書等の収集・保存検討委員会の設置について・平成 27 年度第 7、8 回政策経営会議結果報告書・「(仮称)マイナンバー条例の制定について」パブリックコメント
----------	---